

## 順調な稚魚の成長

### ■成長したイシガレイの稚魚

今回の調査も風が強い日であった。しかし、海は先月のような荒れた状態ではなく、稚魚は2月と同じ位置で採集された（レポートNo138, 140参照）。この位置は水の流れがあり、底は砂地である。これまでの調査で、底が泥地、あるいは堆積物がたまっているような流れのない場所では、稚魚は採集されていない。

今回の調査では23匹の稚魚を採集した（Fig.1）。大きさはTable.1に示したとおりである。Table.2, 3に2, 3月の稚魚の大きさを示したが、稚魚は順調に成長しているとみてよいであろう。4月も小型の稚魚が含まれているが、これは遅れて接岸した個体ではないかと思われる。



(Fig.1 採集した稚魚)

稚魚の全長	1.5cm	2.0cm	2.5cm	3.0cm	3.5cm	4.0cm	4.5cm	5.0cm	5.5cm
採集数(河口)	1	2	1	2	4	7	3	2	1

(Table.1 採集した稚魚の全長と数 4月)

稚魚の全長	1.5cm	2.0cm	2.5cm
採集数(河口)	1	6	5

(Table.2 採集した稚魚の全長と数 2月)

稚魚の全長	2.0cm	2.5cm	3.0cm
採集数(河口)	4	3	4

(Table.3 採集した稚魚の全長と数 3月)

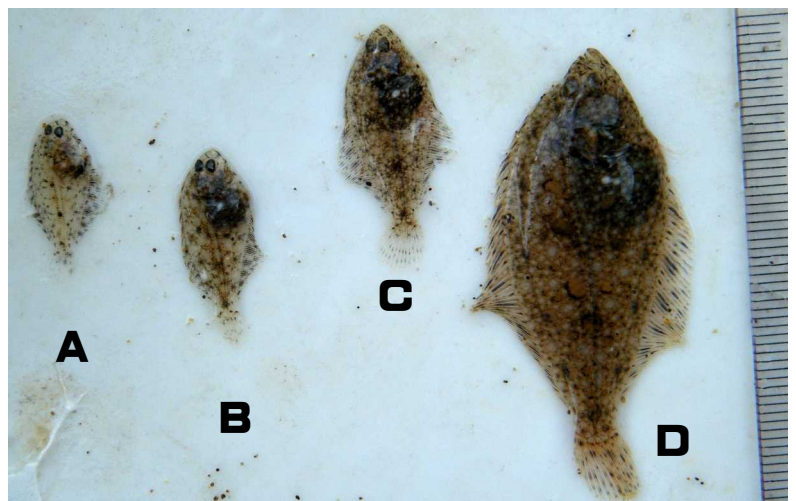
### ■体色の変化

今回の調査では、様々な大きさの稚魚を採集することが出来た。Fig.2のAの個体は1.5cmで、内臓の部分以外の色素は発達していない

(Fig.3)。Cの個体は2.5cmであるがこの程度の大きさになると色素は完成している。



(Fig.3 1.5cmの稚魚)



(Fig.2 稚魚の大きさと体色の比較) (佐藤 賢治)